

	6:30	日水協宮城県支部に応援要請	応急給水班として給水車30台程度
		石巻市役所との連絡体制が整備される。	衛星携帯電話による通信手段確保及び連絡員派遣を決定
	22:30	日赤病院へ応急給水開始	～3月16日 17:20まで 延べ19回 190m ³
3月13日	17:10	須江山浄水場復電	点検後運転再開し給水区域拡張作業へ移行
	20:48	鹿又取水場復電	点検後運転再開
3月14日	10:05	蛇田浄水場復電	被害が大きく点検補修作業
3月16日	7:55	航空自衛隊より給水支援の申し出有	同日承諾
	14:16	大街道浄水場復電	導水管路点検終了後、3/22運転再開
3月22日	9:30	陸上自衛隊より給水支援の申し出有	同日承諾
	16:05	復旧状況及び復旧計画	記者発表及び企業団ホームページに掲載

(2) 応急給水

構成団体である石巻市及び東松島市より応急給水の要請を受け、石巻市は11日の19時10分から、東松島市は12日の5時50分からそれぞれ応急給水を開始した。

また、企業団の給水区域に生じた被害が甚大であったため、応急給水エリアを本部・西部・北部の3つに分け、日本水道協会に応急給水の要請を行った。

名古屋市を中心とした中部地方支部の各水道事業体からは50台以上が出動するなど、85団体より3月13日～6月15日までの95日間では合計100台以上、人数にして延べ4,975人による応急給水が行われ、最大で1日51台の応援があった。特に津波によって被害のあった地域では7月1日まで応急給水が続けられた。

(3) 応急復旧

応急復旧については、3月25日～7月8日までの106日間、仙台市・名古屋市・さいたま市・新潟市を中心に漏水調査で13団体より延べ1,404人、漏水修繕では15団体より延べ2,661人の応援があった。

石巻地方広域水道企業団における復旧経過を図3.1.5及び図3.1.6に、給水区域図を図3.1.7に示す。

4月7日の余震により通水率が0%まで落ち込んだものの、その後の懸命な応急活動により、除々に通水率が上昇した。

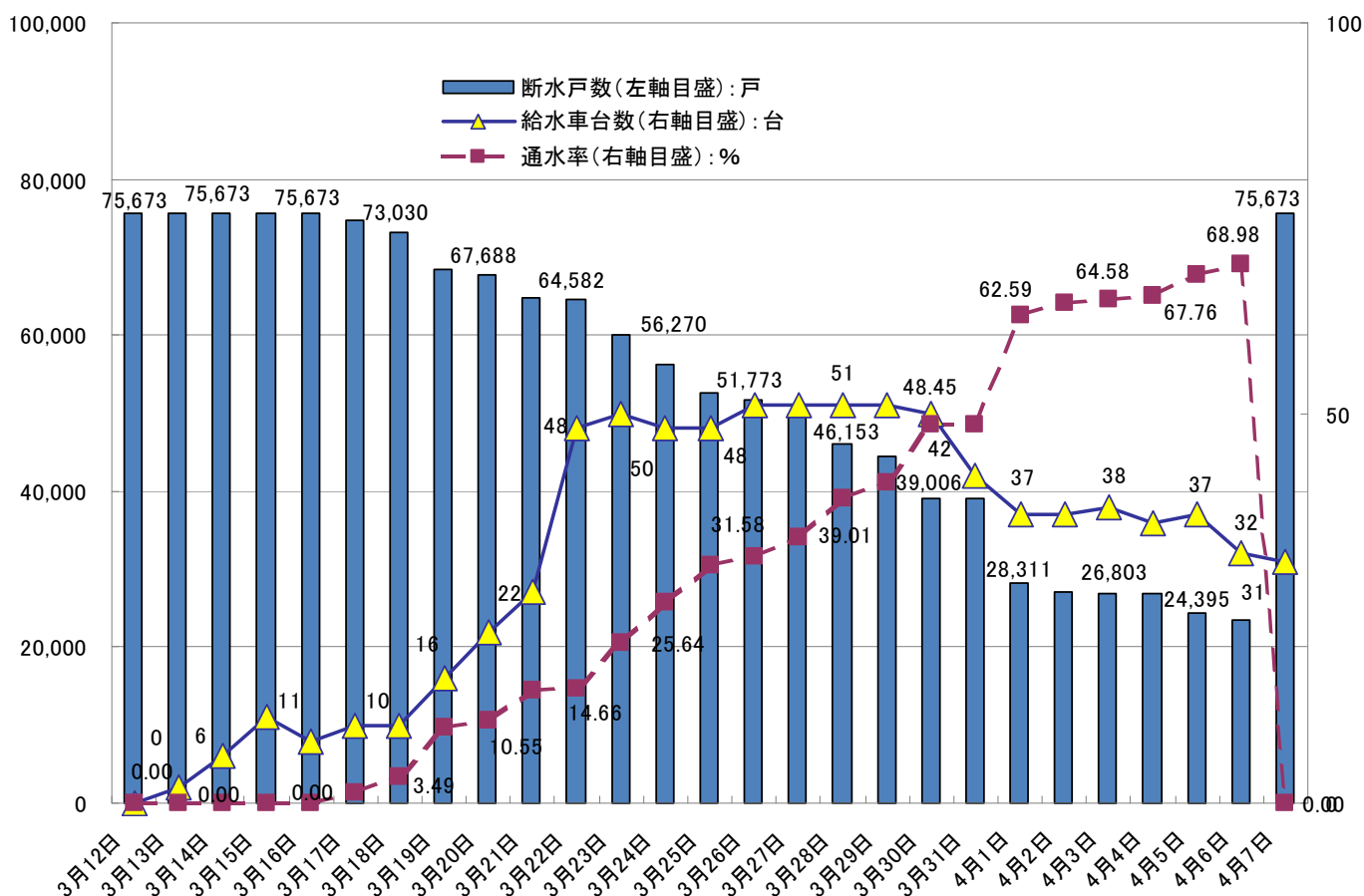


図 3. 1. 5 石巻地方広域水道企業団における復旧経過（4月7日まで）

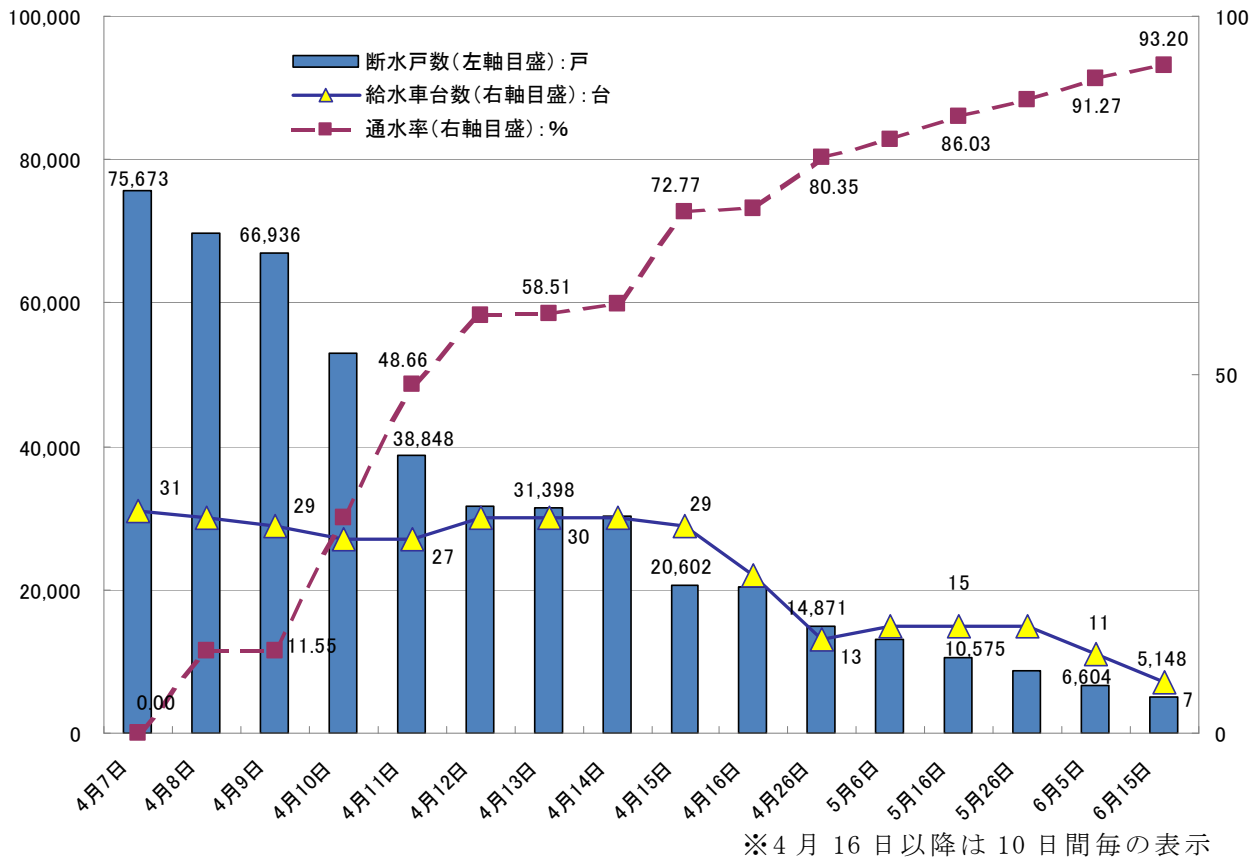


図 3.1.6 石巻地方広域水道企業団における復旧経過（4月7日以降）

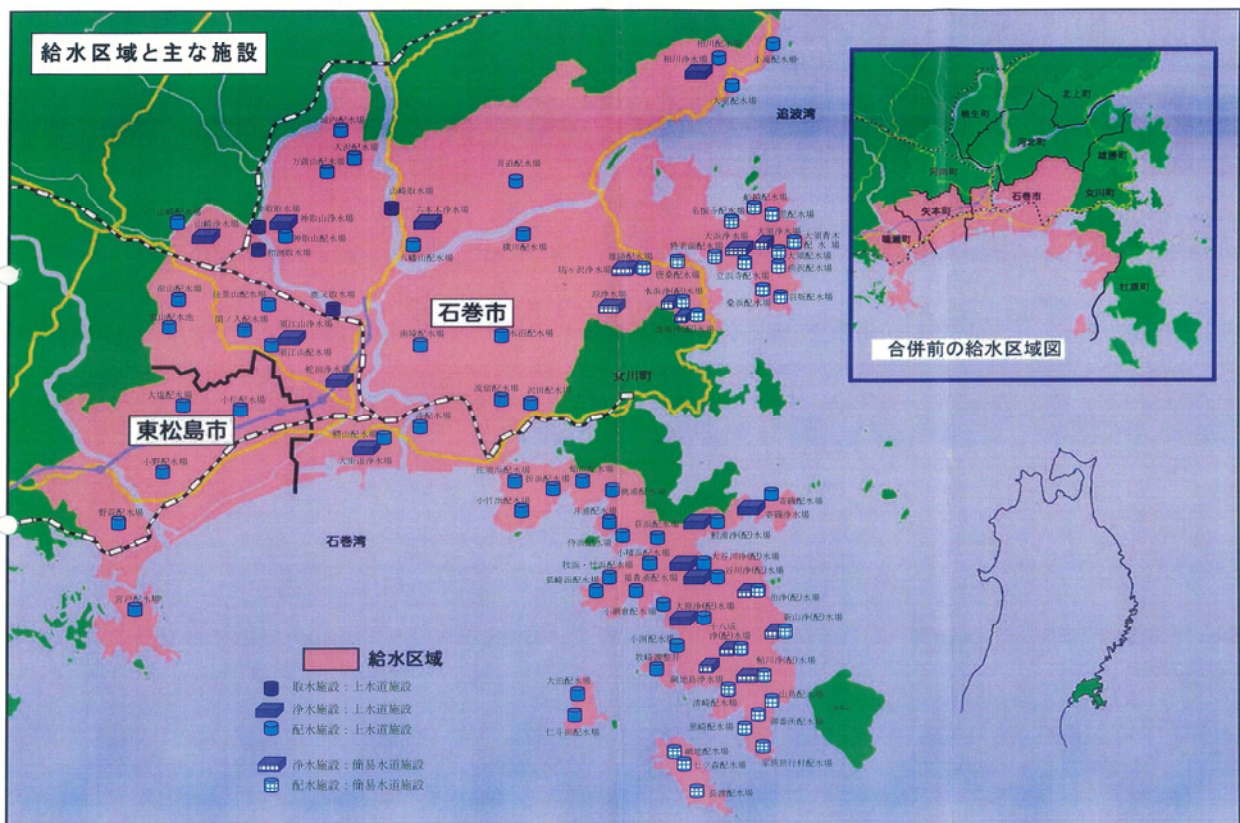


図 3.1.7 石巻地方広域水道企業団給水区域図

3.1.4 一関市

(1) 初動体制

3月11日（金）14時46分の地震発生時は勤務時間中であったため、職員の安否確認を行い、直ちに水道施設の被害実態調査のため職員を派遣することを決定した。

15時には一関市に災害対策本部が設置され、水道部からも本部に常駐する体制となった。また、水道部職員34名が情報収集にあたった。

地震発生から復旧作業開始までの主な動きを表3.1.5に示す。

表 3.1.5 一関市における初動体制

月日	時刻	主な動き	復旧方針と対応
3月11日	14:46	地震発生	・被害実態調査の実施を決定、主要な水道施設に職員5名を派遣
	15:00	・市に災害対策本部が設置され、水道部からも本部常駐 ・水道部職員34名が情報収集にあたる	・被害実態調査のため主要な水道施設に職員10数名を派遣 ・停電のためテレメータによる配水池等の状況が不明。
	16:00	・送・配水管の破損が多数	
	18:00～ 20:00		・広報車を手配。広報活動。 ・断水に伴う臨時給水所の設置及び給水車を配置。 ・送・配水管復旧について、指定業者と協議
3月12日	6:00		・給水活動 ・復旧工事を進める
3月24日	12:30	・市内全域で水道復旧	

(2) 応急給水

一関市の給水車を中心として発災翌日の12日には11台が出動し、一日最大22台体制で応急給水を続け、3月24日には全戸通水した。

しかしながら、4月7日の余震により再び断水が発生し、4月13日まで応急給水を実施した。

(3) 応急復旧

応急復旧については、3月24日に通水したものの、4月7日の余震で再び断水地区が生じたり、配水池が崩壊する等の被害が生じた。一関市における復旧経過を図3.1.8に、給水区域図を図3.1.9に示す。

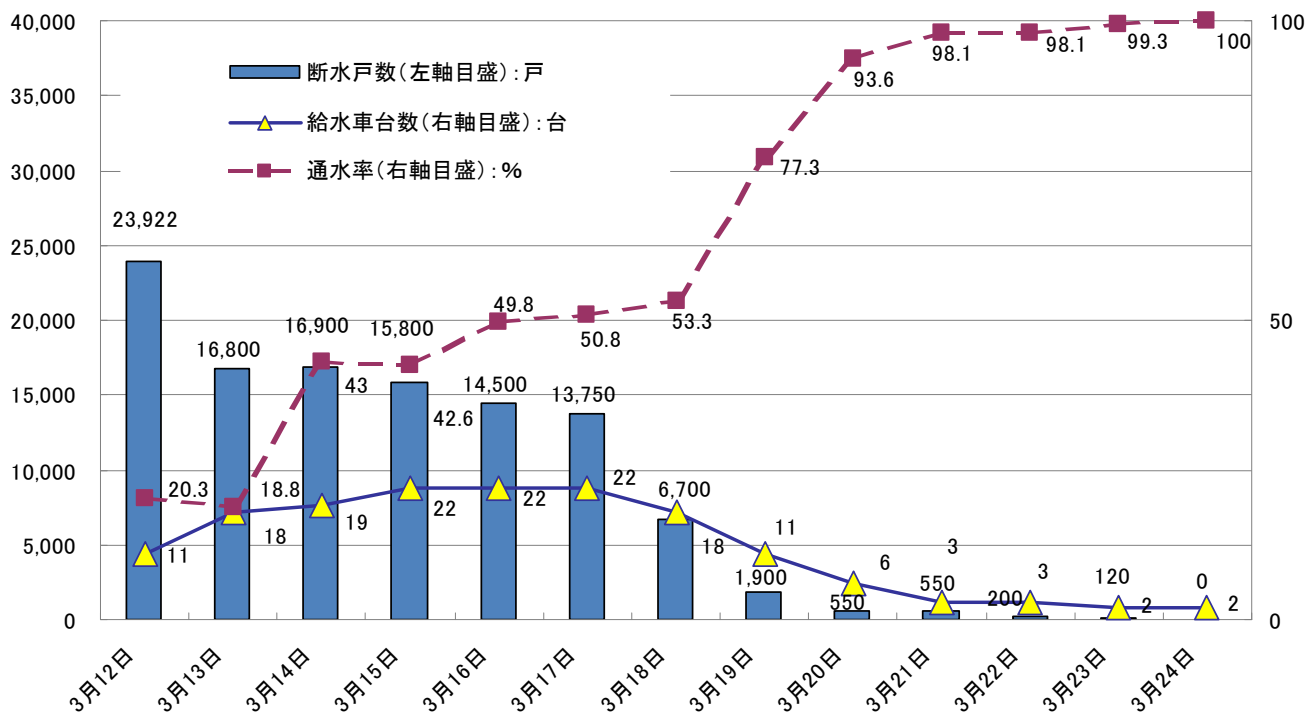


図 3.1.8 一関市における復旧経過

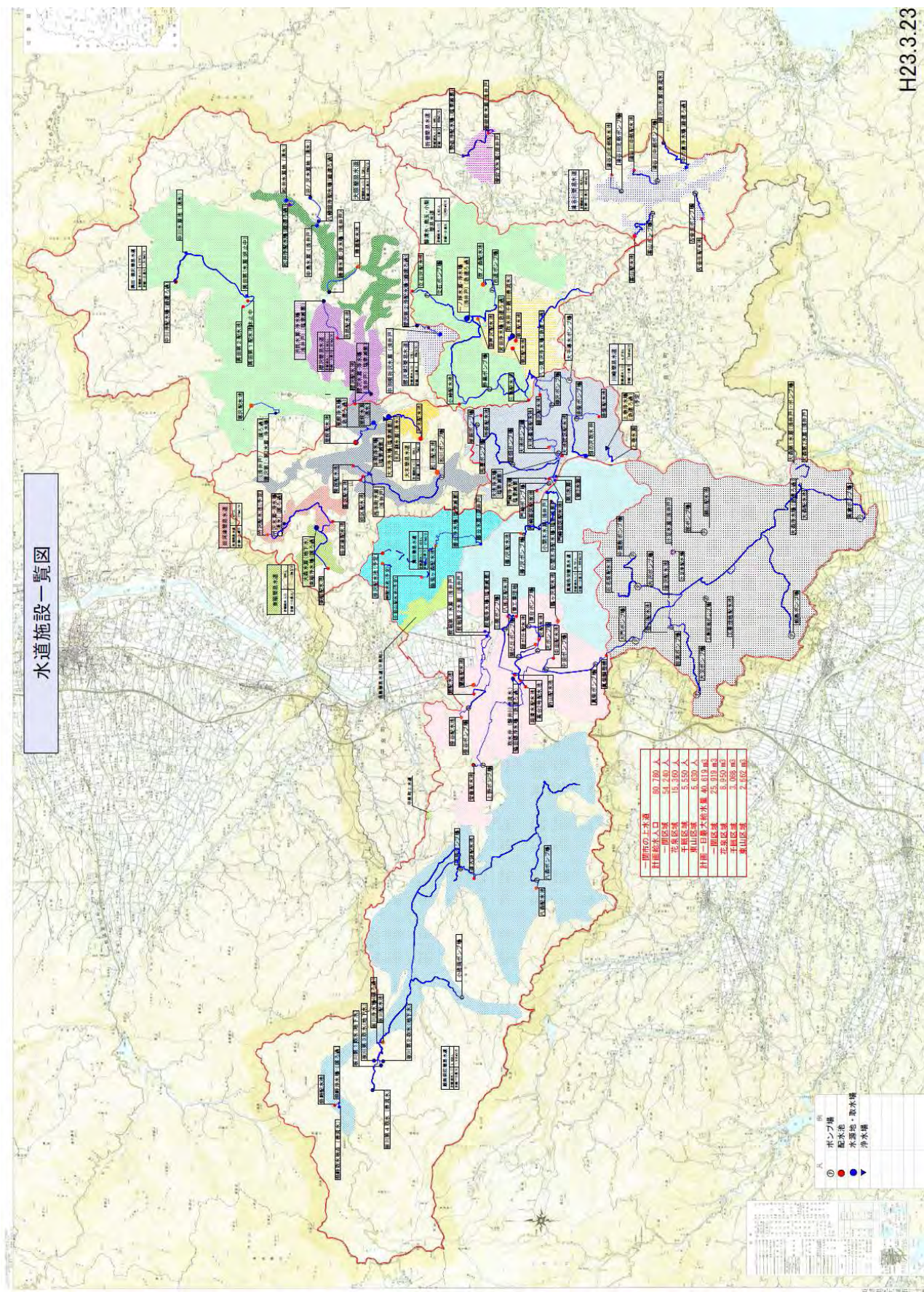


図 3.1.9 一関市給水区域図